

教科名	数学	科目	数学 3	週授業時間	4 単位
-----	----	----	------	-------	------

1. 教科書および副教材・参考書

- これからの数学 3 (数研出版)
- STEP 演習 中学数学 3 (数研出版)
- 高等学校 数学 I (数研出版)
- 4 プロセス I +A (数研出版)
- 4 プロセス数学 I 完成ノート (数研出版)

2. 授業の目標および内容

中学教科書範囲の「関数 $y = ax^2$ 」「相似」「円」を学習します。
 中学範囲終了後は高校範囲の数学 I 「数と式」「2次関数」を学習します。これらの範囲の知識を習得し、自力で問題が解けることを目標にします。予習は必ずしも必要ありませんが、復習が必須です。復習を行うことを前提に授業を展開します。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 1 0 月	二次 1 2 月	期末 3 月

内容・難易度について

定期試験：試験時間は 50 分とし、基本問題・標準問題をバランスよく出題します。授業中に実施したテストや副教材の問題集を利用して問題演習を中心に臨むことが大切です。

4. 評価の視点

(定期テストの平均点) $\pm \alpha$

※ α は授業態度、提出物、定期試験以外の試験 (学力試験・授業中のテスト等)、等を考慮して決定。

上記で算出した「数学 3」の評価の $\frac{2}{3}$ と「数学演習」の評価の $\frac{1}{3}$ を合計し、「数学」の評価とします。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	第4章 関数 $y = ax^2$ ② 関数 $y = ax^2$ の利用 第5章 相似 ① 相似な図形 ② 平行線と線分の比 ③ 相似の利用 第6章 円 ① 円周角の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y = ax^2$の利用 ・いろいろな関数 ・相似な図形の性質 ・三角形の相似条件 ・縮図の利用 ・三角形と比 ・中点連結定理 ・平行線と線分の比 ・相似の利用 ・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円の性質の利用 	随時小テスト実施
2	数学Ⅰ 教科書 (高校数学) 第1章 数と式 ① 式の計算 ② 実数 ③ 1次不等式 第2章 2次関数 ① 2次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法と減法 ・整式の乗法 ・因数分解 ・3次式の展開と因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・2重根号 ・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式 ・絶対値と場合分け ・関数とグラフ ・座標平面上の点と象限 ・2次関数のグラフ ・グラフの平行移動 	随時小テスト実施

		<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの対称移動 	
3	<p>② 2次関数の値の変化</p> <p>③ 2次方程式と2次不等式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ・2次方程式 ・2次関数のグラフと x 軸の位置関係 ・2次不等式 	随時小テスト実施